

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、
異業種交流活動を通して、
持続可能な地域経済圏をつくり、
夢と希望に満ちあふれた、
元気な地域社会を目指します。

SEA

いわき経済同友会
IWAKI

11月号／2025年11月1日発行

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

7 月 通 常 例 会

7月17日(木) 18:00～

会 場 いわき産業創造館



7月に開催された例会は、2部構成で実施されました。第1部では、株式会社いわきスポーツクラブ代表取締役の大倉智氏を講師に迎え、同クラブがJリーグに提出した事業計画書の内容についてご説明いただきました。大倉氏は、いわきFCの歩みや経営理念、クラブ運営における課題、そして地域と共に成長するための取り組みについて、実際の資料を交えながらわかりやすくお話しくださいました。参加者は、プロスポーツと地域社会の関わりを具体的に学ぶ貴重な機会となり、参加した会員は熱心に耳を傾けていました。

続く第2部では、パネルディスカッションが行われました。パネラーには大倉社長と当会代表幹事の小沼郁互さんが登壇し、コーディネーターを田子英彦さんが務めました。ディスカッションでは、いわきFCの今後の展望や、新スタジアム建設に向けた構想、地域経済や雇用への波及効果などについて意見が交わされました。スポーツクラブを核としたまちづくりや、人々が集い応援できる環境づくりの重要性など、熱のこもった意見が飛び交い、参加者も大きな関心を寄せていました。

スポーツを通じた地域活性化や新しい地域ブランドづくりについて考えるきっかけとなった今回の例会は、今後の活動や地域づくりへの新たな気づきを得る機会となりました。

◆ 誕生月プレゼント(7月)



誕生日は、写真左から三浦興一さん(7月3日生)、小沼代表幹事、高橋裕三さん(7月25日生)、田子英彦さん(7月23日生)です。

8 月例会 ～納涼例会～

8月22日(金) 18:00～

会場 正月荘



今回の納涼例会では、まず有限会社あぶくま鶏卵の波多野和茂さんによる会員卓話が実施され、「外国人就労生実情と考え方」をテーマに、実際の現場での経験や日々感じている課題、そして外国人労働者とのように信頼関係を築いていくかについてお話いただきました。波多野さんの率直で現実的な視点は、多くの会員にとって新たな気づきや学びの機会となりました。

卓話の後は懇親会が開かれ、おいしい料理とお酒を囲みながら、会員同士が親睦を深めました。和やかな雰囲気の中で交わされる会話には笑顔があふれ、日頃の活動を労い合うとともに、今後の会への参加意欲を高める場となりました。

また、今回は参加者全員にお土産が用意されており、心温まるおもてなしに会員からも喜びの声が聞かれました。夏の暑さを吹き飛ばすような、楽しく意義ある例会となりました。

◆ 誕生月プレゼント(8月)



誕生日は、写真左から坂本弘文さん(8月18日生)、小沼郁互さん(8月10日生)です。

9 月通常例会

9月17日(水) 18:30～

会場 いわき産業創造館

演題：移動体電力(FCEV・EV・PHEV)とV2Xシステムを活用した新たなCN社会インフラ構築及び【産業創出】に向けた視座と考察

講師：株式会社エナジア 代表取締役 白石 昇央 氏



株式会社エナジア代表取締役の白石昇央氏を講師に迎え、「移動体電力(FCEV・EV・PHEV)とV2Xシステムを活用した新たなCN社会インフラ構築及び【産業創出】に向けた視座と考察」と題した講演会が開催されました。

白石氏は再生可能エネルギーや水素エネルギーを活用した事業を通じて、カーボンニュートラル(CN)社会の実現を目指す第一線で活躍されています。講演では、FCEV(燃料電池車)やEV(電気自動車)などの移動体電力が持つ可能性について、実際の活用事例や最新の技術動向を交えながら解説されました。

さらに、V2Xシステムによる電力の相互利用を通じて、災害時の電力確保や地域内エネルギー循環の促進がどのように実現できるかを具体的に示されました。

こうした取り組みは、単にエネルギー問題の解決にとどまらず、地域産業の新たな価値創出にもつながることから、参加者にとって大きな示唆を与える内容となりました。約70分にわたる講演の中で、参加者はスライド資料を見つめながら真剣に耳を傾け、随所でうなずく姿も見られました。

質疑応答では、参加者から今後の事業展開や地域との連携に関する質問が寄せられ、持続可能な社会づくりに向けた関心の高さがうかがえました。

今回の講演を通じ、私達一人一人がカーボンニュートラル実現に向けてどのような視点で行動すべきかを改めて考える機会となりました。エネルギーの新たな可能性に触れるとともに、地域の未来を支える産業の姿を見つめ直す貴重な時間となりました。

◆ 誕生月プレゼント(9月)

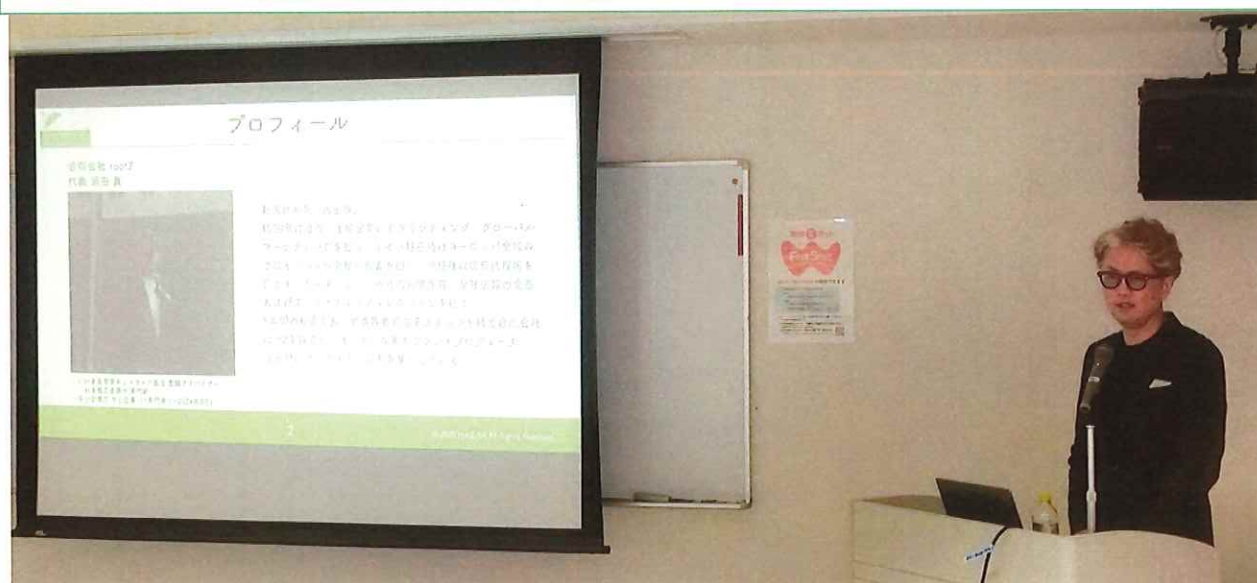


誕生日は、写真左から渡部育夫さん(9月28日生)、安島司さん(9月21日生)、小野寺智勇さん(9月30日生)、小沼代表幹事です。

10月通常例会

10月15日(水) 18:30~
会場 いわき市生涯学習プラザ

演題：経営者の想いを『見える化』し未来を拓く人材確保へ
講師：合同会社root2 代表 浜田 真氏



10月に開催された例会では、会員である合同会社root2(レーツ)代表の浜田真さんを講師に迎え、「経営者の想いを『見える化』し未来を拓く人材確保へ」と題した講演が行われました。

講演では、各企業が直面している人材確保の課題や、持続可能な経営のために必要な考え方について、浜田さん自身の実体験や具体的な事例を交えながら語られました。経営者の想いをいかに社内外に伝え、共感を得るかというテーマのもと、企業理念や事業の方向性を明確に「見える化」する重要性が強調されました。

また、採用活動における情報発信のあり方にも触れ、効果的な企業ホームページの構成や、魅力を伝える動画

制作のポイントについても紹介。実際に浜田さんが取引している企業の事例を示しながら、企業ブランディングと人材確保の関係性をわかりやすく説明されました。参加者はうなずきながら熱心に耳を傾け、時折メモを取る姿も見られました。

講師が会員であることもあり、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。講演後には多くの会員から「自社の発信の仕方を見直すきっかけになった」といった感想が聞かれ、学びと刺激に満ちた時間となりました。

今回の例会を通じて、情報発信の工夫や経営者の想いの伝え方が、これからの人材確保と企業成長の鍵であることを改めて認識する貴重な機会となりました。

「人工衛星打上げ、放出成功!」

当会が5年前から支援をしている「一般社団法人e-kagaku国際科学教育協会」

e-kagakuは、三和町にある廃校になった永井中学校の校舎を「e-kagakuいわき宇宙センター」として活用。年に数回全国の小、中、高生、大学生などが合宿に訪れ、最先端の科学を学び、人工衛星、ドローン、ローバー車などの研究開発から製造までを実践し、プロの科学者を育成している。いわき市内の子供たちも体験教室へ参加している。



2025年9月、子供たちが自ら製造した人工衛星「IWATO」が米国フロリダ州からスペースX社のファルコン9ロケットで打ち上げられ、10月には国際宇宙ステーション「きぼう」から宇宙への放出に成功した。

当会としては、子供たちのサイエンス教育育成、宇宙産業の拠点づくり、いわき市の新たな産業人材育成などに寄与して頂く為、支援を継続する。今年度は、月面ローバー車の研究開発の実験場となる砂場の拡張工事をお手伝いした。



FMいわき「いわき経済同友会だより」

◇毎週月曜日17時36分からです。(約5分間)

※放送予定者は変更になる場合があります

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。

<http://www.simulradio.jp/>

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地18 いわき建設会館 4F

TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211

<http://www.seaiwaki.jp>

E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 小沼郁互代表幹事

編集 広報委員会 委員長 加藤 丈晋